特定非営利活動法人　全国LD親の会

かけはし

VOL. 101

2025年11月25日

報告　第24回公開フォーラム　開催しました

対面＋オンライン

「発達障害児者のライフステージに応じた専門職の支援と連携
～作業療法士・言語聴覚士の視点から～」

日　時：　2025年6月15日（日）9：40～15：50
会　場：　ベネックス長崎ブリックホール　国際会議場
開催方法：会場開催・リアル配信・録画配信（9月10日～10月9日）
共　催：　長崎発達支援親の会のこのこ
参加者数：　会場参加150名・オンライン申込120名

基調講演　「発達障害児者の感覚処理と協調運動の問題への支援」

岩永竜一朗先生（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授）

過反応（感覚過敏・低反応・感覚探求）などの感覚処理と発達性協調運動症（DCD）について、特性の背景や具体的な支援方法について、臨床現場のエピソードも交えながら分かりやすくお話しいただきました。子どもが能動的に動くことをサポートすることの大切さや、具体的な関わり方のヒントがたいへん参考になりました。

パネルディスカッション

話題提供①「成人期に向けた自己理解、保護者とのかかわり」

赤壁省吾先生（兵庫県　社会福祉法人光会　ちきゅうっこ保育園園長　言語聴覚士）

「好きな事を育てる→仲間ができる・コミュニケーション力が育つ→目標を見つけられる」というお話がとても胸に響きました。「自己理解の意味」や「将来やりたいこと・目標の大切さ」についても深く考えることができました。先生はテトリスに例えて、ブロックを回転させたり位置を変えたりするように、「どうすれば、より自分らしくいられるか…自分の特性に合うよう環境ややり方にあわせて調整していくことが大切」とお話しされました。ありのままの凸凹の自分のまま、社会の中で居場所を見つけて欲しいと思いました。

話題提供②「成人期の発達障害者への医療・支援」

水野健先生（東京都　昭和大学附属烏山病院リハビリテーションセンター　作業療法士）

烏山病院のデイケアで取り組まれている「発達障害専門プログラム」についてお話しいただきました。生活支援から就労支援まで当事者へのサポートとあわせて、家族支援や親なき後、当事者の生活が破綻することを防ぐための「自立促進プログラム」にも取り組まれており、たいへん心強く感じました。安心して過ごせる場所で自分と似た特性をもつ仲間たちと出会い、自己理解を深めていくピアサポートの重要性についてもお話しいただき、親の会としてもできることを考えていきたいと思いました。

話題提供③「就労支援の現場から考える育みたいスキルとサポート」

加藤芙美先生（長崎県　社会福祉法人ゆめの樹　障害者就労支援事業所桜の庵　作業療法士）

就労継続支援に携わっておられるお立場から、就労移行支援の実例や就労支援から考える育みたいスキル（自己理解・生活リズムや体調管理・ゲームSNSなどの時間管理・相談できるスキル等）について詳しくお話しいただきました。事例から、きめ細かく丁寧に支援していただいていることに感銘を受けました。

話題提供の後、岩永先生のコーディネートで、会場・オンライン参加の方からの質問にたくさん答えていただき、参加型のパネルディスカッションとなりました。最前線の現場で支援されている先生方のお話はとても説得力があり、自己理解の進め方・専門家との連携・合理的配慮等について学びを深めることができました。のこのこ会員さんがパネラーとして親目線でリアルな実体験や想いを語っていただき、とても共感できました。また、公開フォーラム終了後、9月10日～10月9日まで録画配信し、多くの方に視聴していただきました。

総会・公開フォーラムの開催にあたり、長崎発達支援親の会「のこのこ」の皆様に大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

報告　第18回総会　開催しました

日　時：2025年6月14日（土）12：30～14：00
会　場：ベネックス長崎ブリックホール 会議室2・3
開催方法：対面開催＆リアル配信（ハイブリッド）
出席者数：35団体（出席25団体・議決権行使書７団体・委任状3団体・欠席0）
第１号議案～第３号議案のすべての議案が満場一致をもって異議なく承認されました。
【審議事項】
第1号議案　2024年度事業報告　　第2号議案　2024年度決算報告および監査報告
第3号議案　2025年度役員選任　　理事会報告　2025年度事業計画・ 2025年度予算

報告　役員研修会　開催しました

6月14日（土）総会終了後、役員研修会を開催し、90名を超える参加（会場参加34名・オンライン参加60名）がありました。土田玲子先生（NPO法人なごみの杜代表・日本感覚統合学会会長）を講師にお迎えし「子どもの活き活き人生を応援する～感覚統合の考え方を活かして～」をテーマに、感覚や感覚統合理論について詳しくお話しいただきました。ご講演後、グループワークでお互いの体験を共有したり、子どもの感覚について話し合うことで学びを深めることができました。

（参加者の感想）

- 感覚統合の視点を知り、それに基づいた療育を受けたことで、子どもが感じている困りごとやいわゆる「問題行動」の理由を感覚の特性から周囲の支援者の方々にも具体的に伝えることができ、必要なサポートにつなげることができました。
- 土田先生のお話を伺い、デジタル化が進んで便利過ぎる時代になってしまったからこそ、子どもが体を意識的に使うことの大切さを改めて認識できました。メンターとしても幼児期のお母さん方に伝えていきたいです。

報告　7月20日　オンライン全国青年交流会　開催

第3回目となるオンラインでの青年交流会を「夏にやりたい事」をテーマに開催しました。
当日は、2名の青年と役員5名でわいわいがやがやと楽しくおしゃべりをしました。
今回は、全国各地の花火大会を巡り、写真を撮ってYouTubeに投稿されている青年が参加され、まさしく「夏にやりたい事」のテーマにぴったりのお話がたくさん聞け、撮影した動画も紹介してもらったりと夏を目いっぱい感じることができました。もう一人の青年からも夏にしか食べられない地元の銘菓や、お祭りで食べるおいしい物などをいろいろ教えてもらいました。参加してくれる青年は若干数ですが、毎回、参加者で楽しくおしゃべりしています。次回は1月を予定していますので、青年の皆さんはぜひご参加ください。

報告　8月30日・10月25日　各会役員交流会

全国各地の役員が、活動について相談や情報交換ができるよう「オンライン役員交流会」を定期的（偶数月）に開催しています。（８月30日　28名参加・10月25日　14名参加）
「親の会の運営について」をテーマに、役員選出のしかた・会員を増やす工夫・会報の作成方法・情報発信（SNSの活用）などについて話し合っています。会報については、用紙や郵送費の値上がりで、どの会もデジタル化（データ送付）について検討を進めています。各会主催の講演会も対面開催・オンライン・録画配信と様々な形式で開催されており、開催方法についても情報交換をしました。会員減少や役員のなり手がないといった課題は山積していますが、親の会の意義を確認しながら引き続き支えあっていきたいと思います。

報告　9月25日　会員研修会　「デジタル教科書って、なに？（国語篇）」

一般社団法人　教科書協会様にご協力いただき、国語のデジタル教科書を発行している出版社3社の担当者から、学習者用デジタル教科書の機能や使い方について、小学校低学年用・小学校高学年用・中学校用に分けて詳しくご説明いただきました。その後、教科書協会の担当の方から、学習者用デジタル教科書の制度面について説明していただきました。

【情報】

●発行されているデジタル教科書については、下記のリンク先を参考にしてください。

・教科書協会ホームページ内　教科別発行教科書リンク先紹介ページへのURL
https://www.textbook.or.jp/textbook/publishing.html

・文部科学省のホームページ内　教科書目録情報ページへのURL
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/mokuroku.htm
（文部科学省のホームページへのリンク）

書籍案内

上野一彦先生による新刊『日本のLD史を語る』が2025年5月30日に日本文化科学社より発売されました。本書は、LD（学習障害）という概念が日本に浸透する以前から現在に至るまでの支援の歩みを、上野先生の視点で振り返る貴重な記録です。全国LD親の会についても丁寧に取り上げられており、親の会の活動の歴史的意義が深く描かれています。

●書籍の詳細および購入方法は、以下のURLをご覧ください。
商品ページURL：　https://www.nichibun.co.jp/seek/book/73702.html
画像は、日本文化科学社からの許可を得て転載しています

お知らせ　全国LD親の会のリーフレットが新しくなりました！

全国LD親の会のホームページからダウンロードできます。

リーフレット
https://www.jpald.net/about/pdf/ld_leaflet.pdf

活動報告ちらし
https://www.jpald.net/about/pdf/ld_flyer.pdf

リーフレット

活動紹介チラシ

報告

一般社団法人日本 LD 学会　第 34 回大会

日時：2025年10月18日（土）～19日（日）
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター　＋オンデマンド配信
大会テーマ：「一人ひとり自分の学び方との出会いがそこにある －好奇心が伸びていく－」

10月18.19日　国立オリンピック記念青少年総合センターにて、日本LD学会第34回大会が開催されました。全国LD親の会は「教育から就労自立への移行を見据えた、学齢期から始める支援」をテーマとしたシンポジウムを開催し、あわせて全国各地の親の会の活動を紹介するポスターを展示し、活動紹介のスライドを映写しました。

全国LD親の会企画シンポジウム　開催しました

日　時：　2025年10月19日（日）14:30～16:00
テーマ：「教育から就労自立への移行を見据えた、学齢期から始める支援」

【企画趣旨】全国LD親の会では2025年1月～3月に、18歳以上の子どもを持つ会員（保護者）および本人を対象に「教育から就業への移行実態調査Ⅴ」を実施しました。本シンポジウムでは調査結果をもとに高校卒業後の進路や就労の実態を明らかにし、就労への移行期の課題と学齢期からの支援ついて考察しました。

話題提供１「教育から就業への移行実態調査V（会員調査）報告」　東條 裕志（全国LD親の会）
会員調査から、成人期を迎えた当事者の就労への移行期における実態と課題について報告しました。回答数：保護者411人・本人207人）中学校卒業後は9割以上が進学しており、高等学校等卒業直後は53%が進学している。障害者手帳は77%が取得。現在の状況は在学中を除くと、就労69%、就労支援・訓練20%、その他11%等、進学率と就労率や障害者手帳・年金の取得状況などについて報告しました。調査結果は報告書としてまとめ、今後の支援施策の検討に向け基礎資料として活用していきたいと考えています。

話題提供２「LDの子どもたちが自分の学び方を育み、将来の自立につなげるために
～保護者の立場から見た10年の変化と課題～」 中嶋 幸子（学び方の違う子の親の会ルピナス）
近年、GIGAスクール構想や合理的配慮の進展により「一人ひとりの学び方」に配慮した教育環境は前進しています。しかし、通常学級での支援不足や、支援を得るために保護者の強い働きかけが必要な状況など、依然として課題が残っています。子どもの好奇心を伸ばし、将来の自立につなげるために、学齢期から自己理解や支援要請スキルを育むことや、合理的配慮・ICT活用を特別なものではなく誰にとっても当たり前の支援として根付いていくよう、学校・支援者との連携についてお話ししました。

指定討論　伊藤 由美氏（国立特別支援教育総合研究所）

伊藤先生からは、国立特別支援教育総合研究所で取り組まれた「高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究」の調査結果から、会員調査と対比して、大学・企業での当事者の困難な状況や支援の課題についてお話しいただきました。移行期に必要な支援や学齢期から自己理解を育む等、子育てで大切にしたいことについて議論を深めることができました。

◆◇◆　名誉会員授与のご報告　◆◇◆

このたび、第34回年次大会において、全国LD親の会元会長・山岡修氏に名誉会員・S.E.N.S名誉会員の称号が授与されました。山岡氏は、長年にわたり保護者支援と学会活動の発展に尽力され、LD支援の現場と学術の橋渡しに大きく貢献されました。

（S.E.N.S（センス）とは、「特別支援教育士（Special Educational Needs Specialist）」の略称で、発達障害のある子どもへの支援に特化した専門資格です。）

報告

ディスレクシア月間 2025 ALL JAPAN
～毎年10月を「ディスレクシア月間」に～

一人でも多くの方にディスレクシアのことを知っていただくために、日本でLD/ディスレクシアに関連した事業を実施している主要6団体が、毎年10月にいろいろな企画に取り組んでいます。

全国LD親の会では、読書バリアフリー法の持つ意味を改めて考えることをディスレクシア月間の取り組みとして位置づけ、地域の公立図書館および学校図書館におけるバリアフリー図書の充実を求めています。2025年も加盟各会に「読書バリアフリー法による情報保障を求める要望書」を公立図書館・学校図書館を管轄する部署宛に提出するお願いをしました。

◆公立図書館・学校図書館共通要望事項

- 音声化された図書、ルビがふってある図書、電子化された書籍（映像を含む）などが利用できる環境を整えてください。サピエ図書館や国立国会図書館等、他の図書館が所蔵する視覚障害者等用データの送信サービス等について、必要とする人への情報提供や利用者登録についての支援をおこなってください。
- 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」第二条にあるように、この法律における「視覚障害者等」とは、視覚障害・発達障害・肢体不自由その他の障害により、書籍について、視覚による表現の認識が困難な者であることなどの啓発活動をおこなってください。

上記項目に加え、

公立図書館には、図書館が所蔵しているバリアフリー図書を地域住民が利用しやすいように、バリアフリー図書について積極的に広報し、バリアフリー図書の具体的な貸出手続きや利用のしかたについての情報提供をしてください。また、電子書籍等の利用や操作のしかたについて、図書館で体験する機会を設けてください。

学校図書館には、アクセシブルな図書･学習教材等が、求めている児童生徒へすみやかに届くよう、「学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム」を推進してください。

の項目をそれぞれ加えました。

日本LD学会第34回大会でも、ディスレクシア月間2025 ALL JAPAN実行委員会のブースで、各団体のディスレクシア月間の取り組みを紹介しました。

ご案内

みなサーチのご案内　～ 読みたい本を、読みやすいカタチで ～

みなサーチは、通常の活字の本を読むことが難しい方などが利用しやすい形式の本を探せるサービスです。

みなサーチでできること

- 利用しやすい形式の本（DAISY・テキストデータなど）をダウンロードできます。
- インターネットで読める、利用しやすい形式の本を探すことができます。
- 全国の図書館にある、利用しやすい形式の本の所蔵情報を調べることができます。

登録なしで検索可能です。　みなサーチ　※データのダウンロードは要登録

ご不明な点は、お気軽にお問合せください。
国立国会図書館　関西館　図書館協力課　障害者図書館協力係　メールアドレス：syo-try@ndl.go.jp

報告

2025年度　全国会員子どもの構成調査　（正会員35団体の集計）

＜　総括表　＞　　構成調査にご協力いただき、ありがとうございました

	男	女	合計	区分比率	前年比	男	女
未就学	5	6	11	0.6%	＋57.1%	45.5%	54.5%
小学生	170	56	226	13.3%	＋12.4%	75.2%	24.8%
中学生	144	36	180	10.6%	＋11.8%	80.0%	20.0%
高校相当	146	54	200	11.8%	＋14.9%	73.0%	27.0%
高卒相当	845	236	1,081	63.7%	-4.9%	78.2%	21.8%
合計	1,310	388	1,698	100.0%	+1.1%	77.1%	22.9%

＜　小学生　＞

区分	男	女	計
小1	6	5	11
小2	21	4	25
小3	27	10	37
小4	34	8	42
小5	40	14	54
小6	42	15	57
計	170	56	226

＜　小学校　＞　　下記のうちフリースクールに通っている人数　12名

種 別	人 数	比 率	前年対比
通常級（通級利用なし）	79	35%	＋20%
通常級（通級利用あり）	49	22%	＋32%
特別支援学級	85	38%	-3%
特別支援学校	7	3%	＋17%
その他	3	1%	-25%
未回答	3	1%	-
計	226	100%	＋12%

＜　中学生　＞

区分	男	女	計
中1	52	13	65
中2	47	9	56
中3	45	14	59
計	144	36	180

＜　中学校　＞　　下記のうちフリースクールに通っている人数　11名

種 別	人 数	比 率	前年対比
通常級（通級利用なし）	68	38%	-6%
通常級（通級利用あり）	31	17%	＋3%
特別支援学級	65	36%	＋41%
特別支援学校	4	2％	-50%
その他	6	3％	＋100%
未回答	6	3％	-96%
計	180	100%	＋12%

＜　高校相当　＞

区分	男	女	計
高1（高専1年）	41	14	55
高2（高専2年）	50	14	64
高3（高専3年）	50	5	55
高４	4	0	4
就労一般（月８０h以上）	0	2	2
就労障害枠（月８０h以上）	0	1	1
パート一般（月８０h未満）	0	3	3
地域活動支援センター	0	4	4
生活支援センター（自立・生活訓練）	0	5	5
主婦・主夫・自由業・内職等	0	6	6
その他(無職・求職中等)	1	0	1
高校相当計	146	54	200

＜　高校生の状況　＞

	人数	比率
普通科	120	67%
専門学科（商業・工業・農業等）	21	12%
総合学科	3	2%
高等専門学校（１～３年）	1	1%
高等特別支援学校・特別支援学校高等部	21	12%
高等専修学校	4	2%
フリースクール	0	0%
その他	3	2%
不明	5	3%
計	178	100%

高等学校での通級利用　　１名

＜　高校卒業相当　＞

区分	男	女	計
大学・短大	73	19	92
高等専門学校４年～	1	0	1
専門学校	14	5	19
就労一般	175	28	203
就労障害枠	286	60	346
パート一般	18	16	34
パート障害枠	21	7	28
職業訓練校・委託訓練	3	0	3
就労移行支援	40	5	45
就労継続支援 A型	30	9	39
就労継続支援 B型	73	36	109
地域活動センター	4	1	5
生活支援センター	14	2	16
主婦・自由業・内職等	9	13	22
その他(無職・求職中等)	77	34	111
不明（記入なし）	7	1	8
高校卒業相当計	845	236	1081

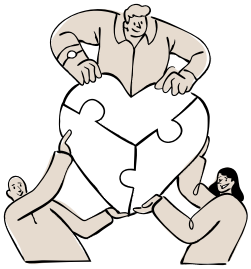
	人数	比率
国・公立高校	82	48%
私立高校	88	52%

単位制以外	110	65%
単位制高校	60	35%

全日制	108	64%
定時制	15	9%
通信制	47	28%

報告　令和８年度　予算要望書を提出しました

令和８年度予算編成について、５月13日付で要望書を文部科学大臣・厚生労働大臣・内閣府特命担当大臣あてに提出しました（要望書の詳細はＨＰに公開していますので、ご参照ください）。



文部科学省関係　＜重点要望事項＞

１．通常の学級における学級規模を小さくして指導の充実を促進すること
２．個別最適な学びを保障するためのICT活用
３．共生社会に向けて、障害への理解啓発と適切な指導の推進
４．家庭と教育と福祉の連携「トライアングルプロジェクト」の推進

＜その他の要望事項＞

１．合理的配慮を確保しつつ、インクルーシブ教育システムの充実の推進を図ること
２．切れ目のない支援体制整備の一層の推進と指導の充実をはかること
３．ICT機器の整備を進め、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを確立すること
４．読書バリアフリーの推進
５．キャリア教育は本人の特性を考慮し、適切な指導を行うこと
６．発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策を整備・周知すること

厚生労働省関係【厚生関係】＜重点要望事項＞

１．専門性の高い福祉人材を安定的に確保すること
２．発達障害者支援センターの増設および職員を増員すること
３．乳幼児から成人まで切れ目なく発達障害に対応できる医療機関を拡充すること
４．障害年金制度を見直すこと

＜その他の要望事項＞

１．身近な地域での発達障害児者およびその家族に対する支援を推進すること
２．発達障害者に対する情報支援体制の整備を拡充すること
３．読書バリアフリーの推進
４．感覚過敏等により、公共交通機関の利用が困難な発達障害者に対する外出支援を構築すること
５．発達障害の特性に応じた緊急時の支援体制の整備・周知

厚生労働省関係　【労働関係】＜重点要望事項＞

１．発達障害者の雇用を促進すること
２．継続して働き続けるための支援を充実すること

＜その他の要望事項＞

１．発達障害者に対する相談体制の整備と多様かつ効果的な職業訓練、職場実習制度を充実すること
２．公的機関における発達障害者の雇用を促進すること
３．雇用・就業関係機関職員や事業所に対する発達障害の研修を充実すること
４．障害者就業・生活支援センター事業を拡充すること

こども家庭庁関係　＜重点要望事項＞

１．発達支援機関・相談支援機関を拡充すること
２．乳幼児から発達障害に対応できる医療機関を拡充すること
３．保育士等への発達障害に関する研修を実施すること

＜その他の要望事項＞

１．身近な地域での発達障害児者およびその家族に対する支援を推進すること
２．発達障害児に対する情報支援体制の整備を拡充すること
３．感覚過敏等により集団生活が困難な発達障害児に対する理解・支援を推進すること
４．発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策の整備・周知

ご案内

～全国特別支援教育推進連盟より～
第４７回 全国特別支援教育振興協議会のご案内

開催方法： YouTube配信（12月中旬～1月中旬配信予定）
お申込み：配信希望の方は、全国LD親の会事務局までお申込みください。
申込先：　jimukyoku@jpald.net　　参加費無料
テーマ：「インクルーシブ教育システムの充実を目指して 」
プログラム：行政説明　文部科学省特別支援教育課 ・こども家庭庁障害児支援課
事業説明　国立特別支援教育総合研究所
シンポジウム 「共に育ち、共に生きる社会を目指して ～特別支援教育のこれから～ 」

✤　開催要項や資料等は、連盟のホームページよりダウンロードしてください。
https://suishinrenmei.jimdosite.com/

ご案内

～日本発達障害ネットワーク JDDnetより～
JDDnet 第21回年次大会のご案内

テーマ：発達障害支援のための専門性を問う　～科学的根拠に基づく質へのこだわり～
日　時：2025年12月7日（日）10：00～16：30
会　場：AP東京八重洲（７階）　　対面開催　　参加費：一般6,000円・会員5,500円
プログラム：　午前の部　シンポジウム「発達障害（児）者支援のためのアセスメント」のアップデート
午後の部　講演「発達障害（児）者支援のための研究と施策」のアップデート

詳細・お申込みはイベントチラシをご覧ください。
https://jddnet.jp/wp-content/uploads/JDDnet-21.pdf

お願い

寄付のお願い　全国LD親の会をご支援ください

NPO法人全国ＬＤ親の会は、LDなど発達障害の理解啓発や研究事業、
本人・家族への支援事業に取り組んでいます。
活動をより充実させるため、ご支援のほどお願いいたします。

振込先 ： 郵便振替口座：00120-3-52748　特定非営利活動法人全国ＬＤ親の会
通信欄に「寄付」とご記入下さい。

御　礼

ご寄付いただき、ありがとうございました。
株式会社ハートフル様・株式会社健康サプリ研究所様・有限会社奥進システム様

ご案内

入会案内　　会員募集しています ！

会員の方には機関紙かけはし・メールにて情報提供、ブロック活動へ参加できます。
正会員団体・・・ 各地で活動しているLD等の親の会で、全国LD親の会の活動目的に賛同する団体
準会員団体・・・ ＬＤ等の親の会で、将来、正会員団体としての入会を目指す団体
個人準会員・・・ 全国ＬＤ親の会の正会員団体がない県に居住する、発達障害の子どもの保護者の方
賛助会員　・・・全国ＬＤ親の会の活動をサポートしていただける個人ないし団体
賛助会員も、講座やフォーラムに会員価格で参加できます。
（賛助会員の年会費は、個人3,000円・団体5,000円です。）

入会案内　全国

報告

ＮＰＯ法人全国LD親の会 活動報告

～オンラインを活用して全国の各会会員と交流しています！！～

2025年
4月12日　各会役員交流会
4月27日　2024年度事業監査
5月13日　2026年度予算要望書（文部科学省・厚生労働省・こども家庭庁）送付
6月14日　第18回総会・研修会
6月15日　第24回公開フォーラム「発達障害児者のライフステージに応じた専門職の支援と連携」
7月20日　オンライン全国青年交流会
8月21日-11月10日　2025年度特別支援教育支援員養成講座（ビデオ配信）
8月30日　各会役員交流会
9月10日-10月9日 第24回公開フォーラム　オンデマンド配信
9月25日　会員研修会　デジタル教科書って、なに？「国語篇」
10月01日-31日　ディスレクシア月間2025 ALL JAPAN
「読書バリアフリー法による情報保障を求める要望書」提出の取り組み
10月18日-19日　日本LD学会第34回大会・親の会ポスター展示
10月25日　各会役員交流会

理事会報告

●第60回理事会報告
開催日: 2025年5月6日（火・祝）19:30～20:00　開催場所：理事長宅　参加者：理事6名
［決議］　1、「京都さんらいず」正会員団体入会について、全員一致で同意した
2、2025年度活動方針及び予算案について、全員一致で同意した
3、第18回通常総会に付議する議案について、 全員一致で同意した

●第61回理事会報告
開催日: 2025年6月14日（土）13:30～13:45
開催場所：ベネックス長崎ブリックホール　会議室2・3　　参加者：理事7名
［決議］　理事長、副理事長選定の件
第18回通常総会において承認された理事7名の中から、理事長井上育世・副理事長多久島睦美・副理事長粟野健一が選任された

●第62回理事会報告
開催日: 2025年6月29日（日）16:00～16:30　開催場所：理事長宅　参加者：理事6名
［決議］　1、「新潟ＬＤ勉強会」正会員団体入会について、全員一致で同意した
2、第41回評議員会における審議結果を審議し、全員一致でこれを承認した

発 行：特定非営利活動法人全国ＬＤ親の会
発行人：井上　育世
事務局：〒 151-0053
東京都渋谷区代々木2-26-5 パロール代々木415
TEL/FAX:03-6276-8985
E-MAIL:jimukyoku@jpald.net

全国LD親の会HP
https://www.jpald.net/